

香川県の地震

2021年7月

香川県の地震活動

震央分布図、断面図	・・・	1
地震概況	・・・	1
香川県の地震表（震度1以上）	・・・	2
震度分布図	・・・	3～4

南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会 (注)

評価検討会調査結果（令和3年8月6日）	・・・	5
---------------------	-----	---

(注) 直近に開催された評価検討会の調査結果を掲載します。

地震一口メモ

香川県付近の活断層とその長期評価について	・・・	6～7
----------------------	-----	-----

この資料の震源リスト・震源要素(緯度、経度、深さ、マグニチュード)は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

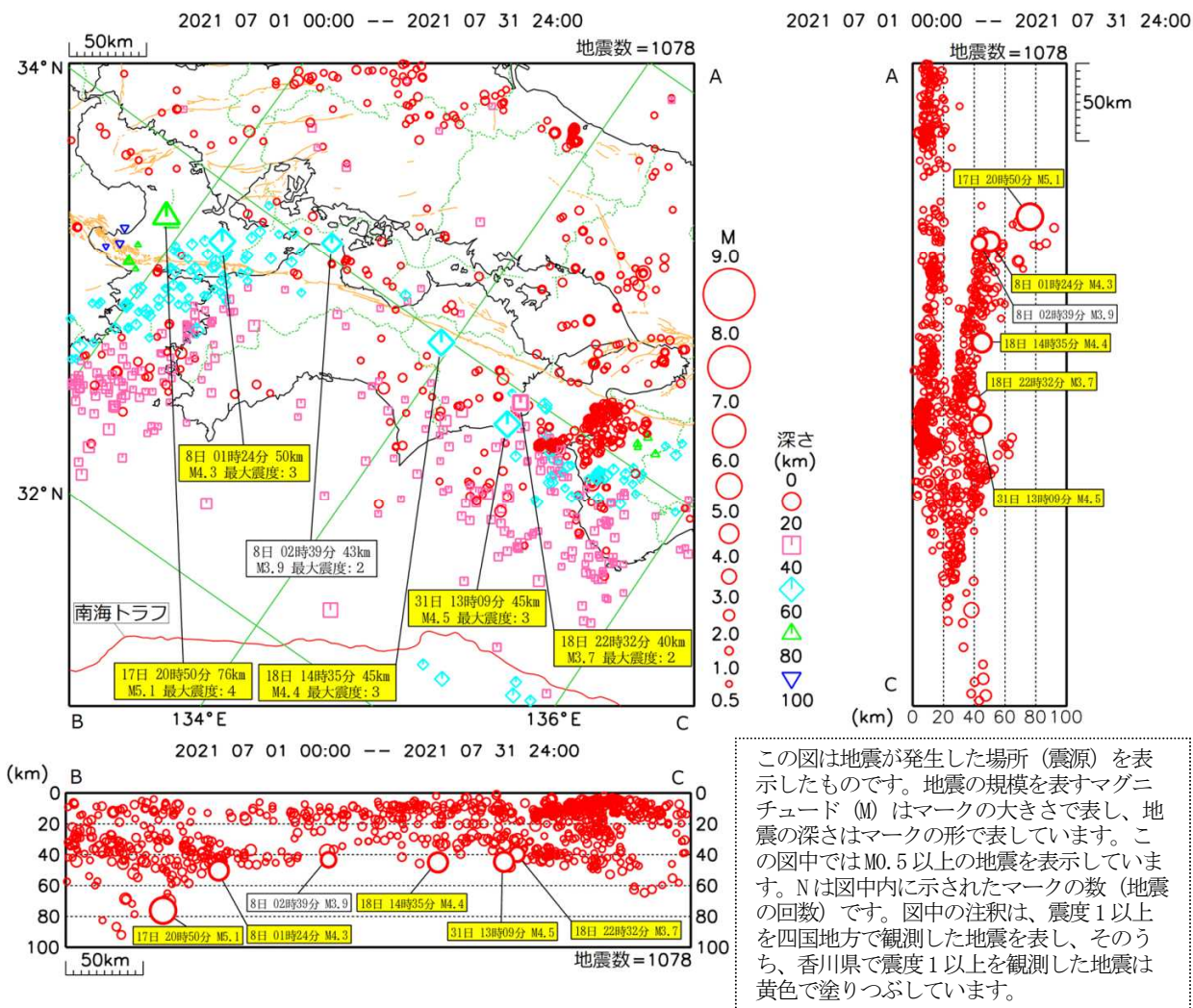
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点(河原、熊野座)、米国大学間地震学研究連合(IRIS)の観測点(台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東)のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

【香川県の地震活動】

2021年7月

◎震央分布図、断面図



[左上：震央分布図、右上：A-Cを投影面とした断面図、左下：B-Cを投影面とした断面図]

◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の5回でした（前月は1回）。

8日01時24分伊予灘の地震（深さ50km、M4.3）により、高松市・丸亀市・観音寺市・多度津町・三豊市・綾川町で震度1を観測しました。この地震では、愛媛県久万高原町・宇和島市で震度3を観測したほか、中国・四国・九州地方にかけて震度3～1を観測しました。

17日20時50分伊予灘の地震（深さ76km、M5.1）により、丸亀市・多度津町で震度2、高松市・東かがわ市・土庄町・直島町・さぬき市・小豆島町・観音寺市・琴平町・三豊市・綾川町で震度1を観測しました。この地震では、愛媛県八幡浜市・西予市、山口県平生町・防府市、大分県姫島村・国東市・大分市・臼杵市・佐伯市で震度4を観測したほか、近畿・中国・四国・九州地方にかけて震度3～1を観測しました。

18日14時35分徳島県北部の地震（深さ45km、M4.4）により、高松市・綾川町で震度3を観測しました。この地震では、岡山県倉敷市、徳島県美馬市・つるぎ町で震度3を観測したほか、近畿・中国・四国地方で震度2～1を観測しました。

18日22時32分徳島県南部の地震（深さ40km、M3.7）により、高松市・東かがわ市・土庄町・さぬき市・小豆島町で震度1を観測しました。この地震では徳島県鳴門市・佐那河内村・神山町・藍住町・美馬市・阿南市・那賀町で震度2を観測したほか、近畿・四国地方で震度2～1を観測しました。

31日13時09分 徳島県南部の地震（深さ45km、M4.5）により、高松市・東かがわ市・土庄町・三木町・直島町・さぬき市・小豆島町・丸亀市・坂出市・善通寺市・観音寺市・琴平町・多度津町・三豊市・綾川町で震度2、まんのう町で震度1を観測しました。この地震では、徳島県阿南市・牟岐町・那賀町・美波町・海陽町、高知県東洋町で震度3を観測したほか、東海・近畿・中国・四国地方にかけて震度2～1を観測しました。

四国内で震度1以上を観測した地震は、前述の他に次の1回でした。

8日02時39分 安芸灘の地震（深さ43km、M3.9）により、愛媛県今治市で震度2を観測したほか、中国・四国地方で震度2～1を観測しました。

四国内に津波予報（若干の海面変動）を発表した地震がありました。

29日15時16分頃（日本時間）にアリューシャン列島で地震（北緯55.5度、西経157.9度、M8.2：速報値）が発生し、北海道から沖縄県にかけての太平洋沿岸に津波予報（若干の海面変動）を発表しました。四国管内では徳島県、高知県に津波予報を発表しました。

◎香川県の地震表（震度1以上）

震源時（年月日時分） 各地の震度	震央地名	緯度	経度	深さ	マグニチュード
2021年07月08日01時24分 香川県 震度 1	伊予灘	33° 42.7' N	132° 16.3' E	50km	M4.3
高松市国分寺町*、丸亀市綾歌町*、観音寺市坂本町、観音寺市瀬戸町* 観音寺市豊浜町*、多度津町家中、多度津町栄町*、三豊市高瀬町*、三豊市詫間町* 三豊市三野町*、綾川町山田下*、綾川町滝宮*					
2021年07月17日20時50分 香川県 震度 2 震度 1	伊予灘	33° 38.3' N	131° 51.3' E	76km	M5.1
丸亀市新田町*、多度津町家中 高松市伏石町、高松市扇町*、高松市塩江町*、高松市香川町*、高松市国分寺町* 東かがわ市西村、土庄町甲、直島町役場*、さぬき市長尾総合公園* さぬき市津田町*、さぬき市寒川町*、小豆島町池田*、丸亀市綾歌町* 観音寺市坂本町、観音寺市瀬戸町*、観音寺市豊浜町*、琴平町榎井* 多度津町栄町*、三豊市財田町*、三豊市高瀬町*、三豊市詫間町*、三豊市三野町* 綾川町山田下*、綾川町滝宮*					
2021年07月18日14時35分 香川県 震度 3 震度 2 震度 1	徳島県北部	33° 58.1' N	133° 55.7' E	45km	M4.4
高松市国分寺町*、綾川町山田下* 高松空港、高松市扇町*、高松市塩江町*、高松市香川町*、高松市庵治町* 高松市香南町*、東かがわ市西村、土庄町甲、直島町役場*、さぬき市長尾総合公園* さぬき市志度*、さぬき市津田町*、さぬき市寒川町*、小豆島町池田* 丸亀市新田町*、丸亀市綾歌町*、丸亀市大手町*、坂出市久米町*、観音寺市坂本町 観音寺市瀬戸町*、宇多津町役場*、琴平町榎井*、多度津町家中、多度津町栄町* 三豊市豊中町*、三豊市仁尾町*、三豊市財田町*、三豊市山本町*、三豊市高瀬町* 三豊市詫間町*、まんのう町吉野下*、まんのう町生間*、綾川町滝宮* 高松市伏石町、高松市牟礼町*、高松市番町*、東かがわ市南野*、東かがわ市引田* 東かがわ市湊*、土庄町大部*、三木町氷上*、小豆島町馬木*、小豆島町片城* 丸亀市飯山町*、坂出市王越町、善通寺市文京町*、観音寺市大野原町* 観音寺市豊浜町*、三豊市三野町*、まんのう町造田*					
2021年07月18日22時32分 香川県 震度 1	徳島県南部	33° 56.6' N	134° 37.3' E	40km	M3.7
高松市扇町*、東かがわ市西村、東かがわ市南野*、土庄町甲、さぬき市津田町* さぬき市寒川町*、小豆島町池田*					

次ページへ続く

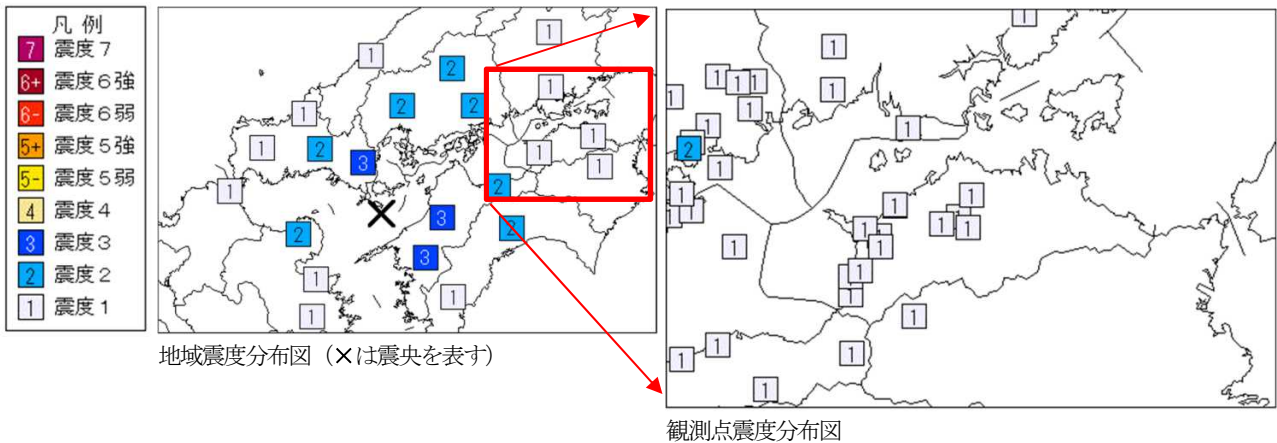
前ページより続く

2021年07月31日13時09分	徳島県南部	33° 47.8' N 134° 37.9' E	45km	M4.5
香川県	震度 2	高松市扇町*, 高松市香川町*, 高松市香南町*, 高松市国分寺町*, 高松市牟礼町* 東かがわ市西村, 東かがわ市南野*, 東かがわ市湊*, 土庄町甲, 三木町氷上* 直島町役場*, さぬき市長尾総合公園*, さぬき市志度*, さぬき市津田町* さぬき市寒川町*, 小豆島町池田*, 丸亀市新田町*, 丸亀市綾歌町* 丸亀市飯山町*, 坂出市久米町*, 善通寺市文京町*, 観音寺市坂本町 観音寺市瀬戸町*, 琴平町榎井*, 多度津町家中, 三豊市高瀬町*, 三豊市詫間町* 三豊市三野町*, 綾川町山田下*, 綾川町滝宮*		
	震度 1	高松空港, 高松市伏石町, 高松市塩江町*, 高松市庵治町*, 高松市番町* 東かがわ市引田*, 土庄町大部*, 小豆島町馬木*, 小豆島町片城*, 丸亀市大手町* 坂出市王越町, 観音寺市大野原町*, 観音寺市豊浜町*, 多度津町栄町* 三豊市豊中町*, 三豊市仁尾町*, 三豊市財田町*, 三豊市山本町* まんのう町造田*, まんのう町吉野下*, まんのう町生間*		

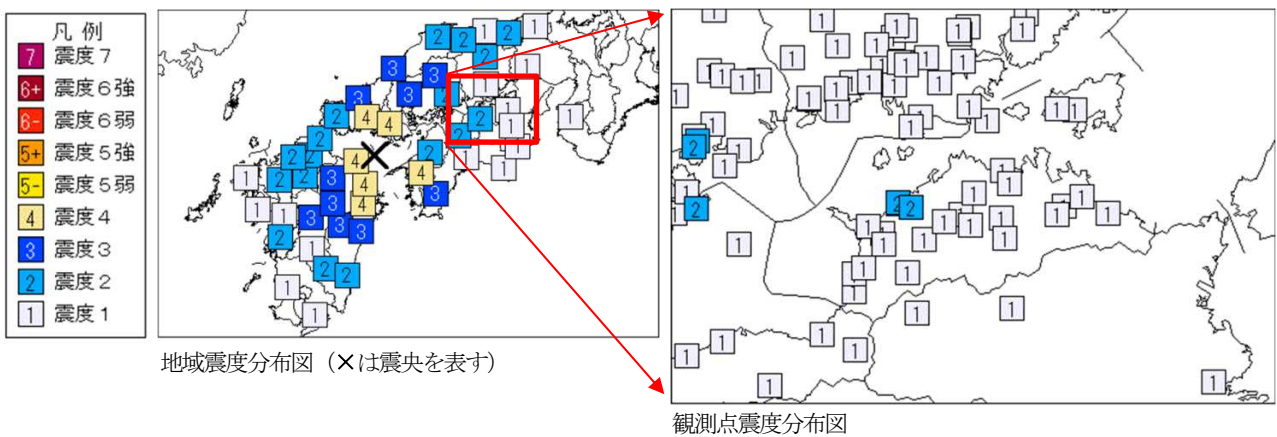
*は気象庁以外の震度観測点

◎震度分布図

2021年07月08日01時24分 伊予灘の地震

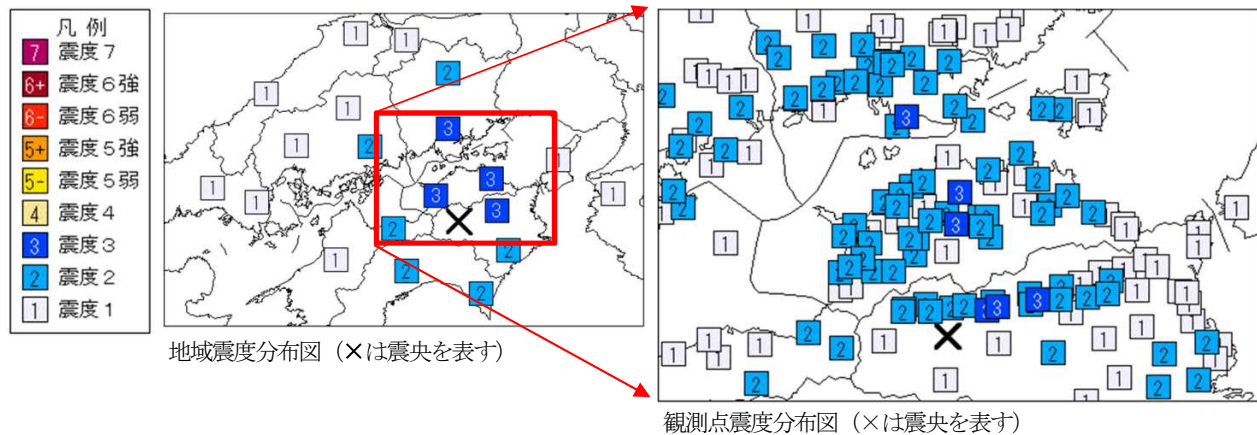


2021年07月17日20時50分 伊予灘の地震

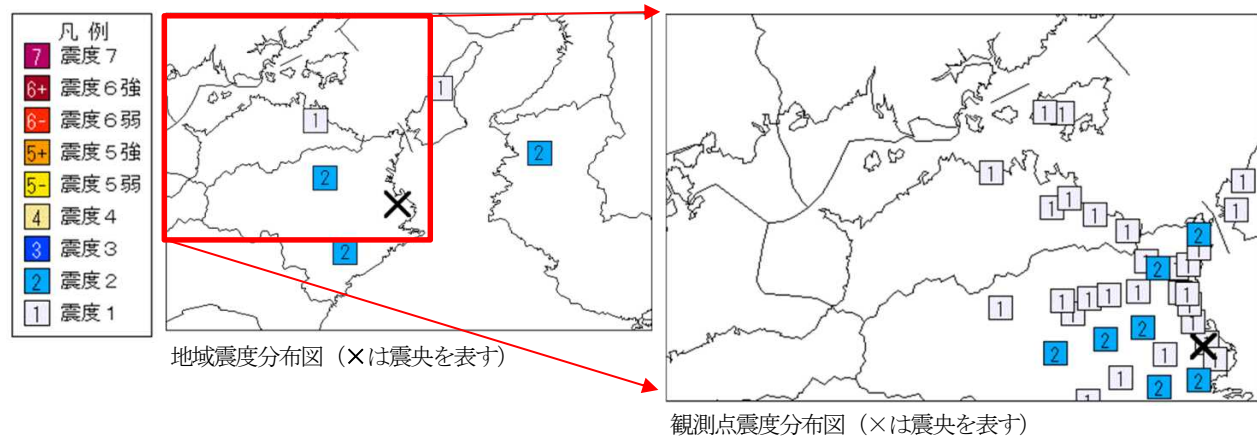


前ページより続く

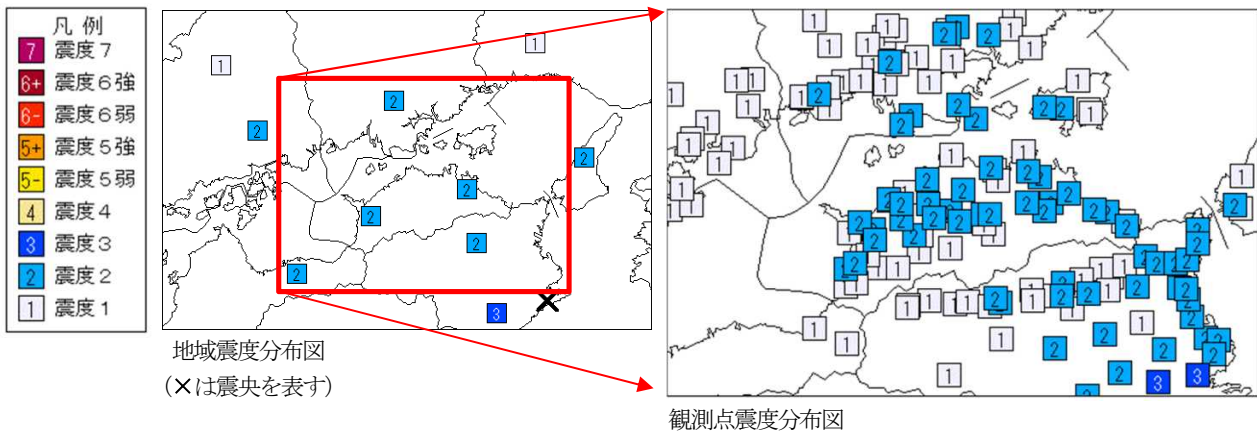
2021年07月18日14時35分 徳島県北部の地震



2021年07月18日22時32分 徳島県南部の地震



2021年07月31日13時09分 徳島県南部の地震



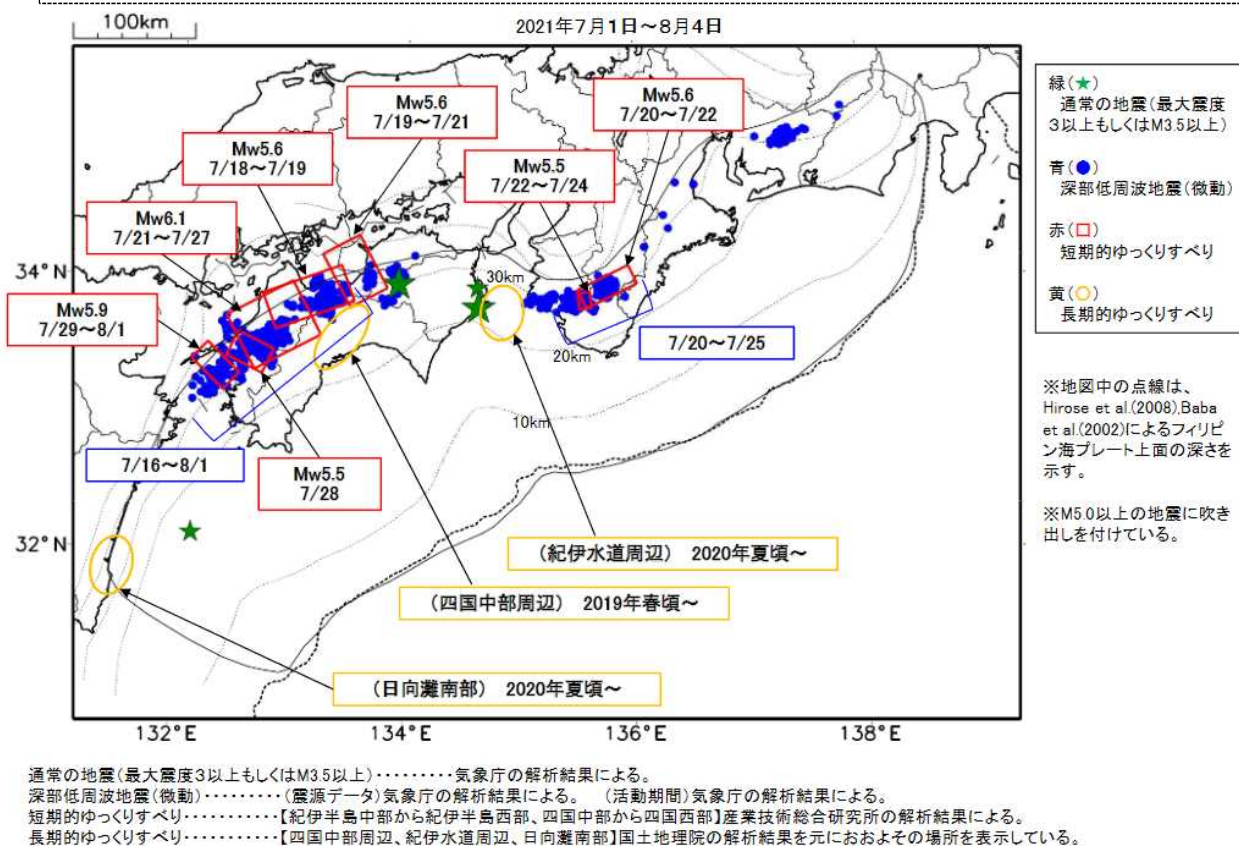
【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

令和3年8月6日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

【調査結果（概要）】

南海トラフ地震の想定震源域では、プレート境界の固着状況に特段の変化を示すようなデータは得られておらず、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。



気象庁作成

上図の深部低周波地震(青●)、短期的ゆっくりすべり(赤□)、長期的ゆっくりすべり(黄○)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2108/06b/nt20210806.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

【地震一口メモ】

香川県付近の活断層とその長期評価について

＜地震調査研究推進本部が行う長期評価＞

甚大な被害をもたらした1995年の兵庫県南部地震は、六甲・淡路島断層帯の一部が活動して発生しました。この地震を契機に、政府の地震調査研究を一元的に推進する機関として「地震調査研究推進本部（以下、地震本部）」が発足し、様々な調査研究が推進されることとなりました。地震本部は全国の活断層や海溝付近で発生する地震について、その発生位置、規模、発生確率を評価する「長期評価」を行って公表しています。

我が国には約2000の活断層があります。地震本部では全国に分布する活断層の調査を効率的に行うため、活動度や活動した際の社会への影響度等を考慮し、調査対象として114断層帯を選定しました。これら114の断層帯は「主要活断層」と呼ばれます。

＜香川県付近にある断層帯、断層と地震発生確率＞

香川県付近には、この114の「主要活断層帯」に入っている「長尾断層帯」「中央構造線断層帯」のほか「上法軍寺断層」があります。表1は各断層帯、断層（以下、断層帯）の「長期評価」の内容、図1は各断層帯の位置です。「長期評価」の内容には各断層帯の「地震発生確率」が含まれています。「地震発生確率」の数字を適切に受け止めることで、大地震発生の可能性の重みを感じ取り、日頃からの備えの大切さを認識することができると思います。今回は「長期評価」に記載される「地震発生確率」について説明します。

表1 香川県付近の活断層の長期評価
地震本部ホームページ「主要活断層帯の長期評価」「四国地域の活断層の地域評価」を参考に作成

長尾断層帯の長期評価 Zランク ^注 (算定基準日 令和3年(2021年)1月1日)	
最新の活動	8世紀以後、16世紀以前
平均活動間隔	概ね3万年程度
地震後経過率	0.01-0.04
30年以内の地震発生確率	ほぼ0%
想定される規模	全体が1つの区間として活動した場合、マグニチュード7.3程度
上法軍寺断層の長期評価 Xランク ^注 (算定基準日 令和3年(2021年)1月1日)	
最新の活動	不明
平均活動間隔	不明
地震後経過率	不明
30年以内の地震発生確率	不明
想定される規模	活動時の地震規模マグニチュード6.0程度
中央構造線断層帯讃岐山脈南縁東部区間長期評価 Aランク ^注 (算定基準日 令和3年(2021年)1月1日)	
最新の活動	16世紀以後
平均活動間隔	約9百-1千2百年
地震後経過率	0.6以下
30年以内の地震発生確率	1%以下
想定される規模	活動時の地震規模マグニチュード7.7程度
中央構造線断層帯讃岐山脈南縁西部区間長期評価 Aランク ^注 (算定基準日 令和3年(2021年)1月1日)	
最新の活動	16世紀以後、17世紀以前
平均活動間隔	約1千-1千5百年
地震後経過率	0.2-0.5
30年以内の地震発生確率	ほぼ0-0.4%
想定される規模	活動時の地震規模マグニチュード8.0程度、もしくはそれ以上

「地震発生確率」は各断層帯に対し、長期的な地震発生の可能性を、確率値を使って評価するものです。

各種調査の結果から明らかとなった各断層帯における地震の発生間隔と最新の発生時期から算出します。「地震発生確率」は幅を持って推定せざるを得ない場合が多いため、調査によって新たな知見が得られれば、その確率が変化する場合もあるなど、さまざまな不確定さを含んだ数値です。地震発生確率の評価手法の詳細については、地震本部のホームページ 報告書「長期的な地震発生確率の評価手法について」<https://www.jishin.go.jp/main/choukihyoka/01b/chouki020326.pdf>をご覧ください。

表1に掲載した「30年以内の地震発生確率」を見ると、長尾断層帯は「ほぼ0%」、

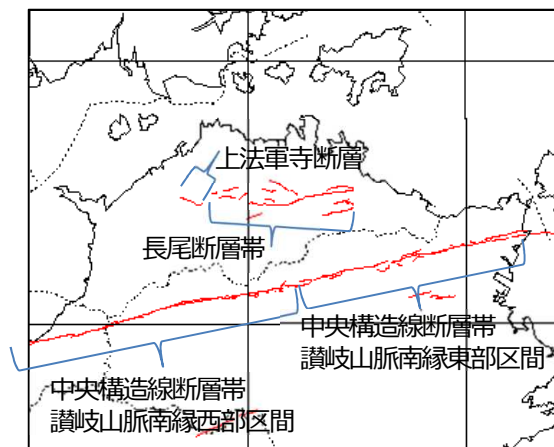


図1 香川県周辺の活断層の位置

注：活断層における今後30年以内の地震発生確率が3%以上を「Sランク」、0.1~3%未満を「Aランク」、0.1%未満を「Zランク」、不明（すぐに地震が起きることが否定できない）を「Xランク」と表記している。地震後経過率（注2）が0.7以上である活断層については、ランクに「*」を付記している。

